

(熊本県立高森高等) 学校 令和 6 年度 (2 0 2 4 年度) 学校評価計画表

1 学校教育目標				
<p>地域社会と連携し、自然・文化・伝統を継承・発展させる活動に取り組み、高い意識をもって地域創生や地域貢献を担うグローバルな視点を持った、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。</p> <p>【学校経営目標】</p> <p>(1) 幼保小中高連携による発展的な英語教育と I C T 特定推進校としての発展的な I C T 活用教育を実践する。</p> <p>(2) クリエイトハイスクール指定校として地元自治体や企業等と連携・協働した探究的及び創造的な質の高い学びを実践する。</p> <p>(3) マンガ学科の設置及び普通科グローバル探究コースの開設により、地域活性化策に連動した新たな学びによる特色化を図る。</p>				
2 本年度の重点目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体や企業等と連携・協働した探究的創造的な質の高い学びを実践し、本校の魅力を更に高める。 ・学校及び学科の特色を活かした教育活動を推進し、情報発信等を通じて本校の魅力を更に高める。 				
3 自己評価総括表				
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策
大項目	小項目			
学校経営	働き方改革を意識した業務改善に取り組む	持続可能な組織的な学校運営の構築	各学期の業務振り返りを行い、課題を分析・検証し、改善案を提示する。	学期ごとに学校行事や校務分掌の取組を振り返り、取組の検証や課題解決に向けた改善案の提示を、時機を逃さず実施する。
	本校の魅力発信に取り組む	マンガ学科及び普通科グローバル探究コースの入学生確保のための組織的な取組の実践	本校の日常的な教育活動を SNS や特設スタジオの活用により、定期的に情報発信する。	○オープンスクール・上級学校説明会において、高森町、コアミックス社、県教委と連携し生徒募集を行う。 ○TPC と連携し、校内スタジオを活用した、本校の魅力発信動画を作成し、情報発信を行う。
学力向上	生徒が自ら学びに向かう力を育む教育活動の研究	シラバスと授業評価の充実	マクロルーブリックの視点を授業に反映できるシラバスと授業評価を作成する。	○マクロルーブリックと連動した授業評価を作成する。 ○授業に活用できるシラバスを作成する。
		授業研究の体制づくりと観点別評価の充実	教科を超えて授業づくりを行う体制を作る。	○教科横断的な授業の実施に向けた職員研修を行い、それを反映させた研究授業を計画する。
キャリア教育	生徒の主体性を育むキャリア教育を	地域連携事業とキャリア教育の一体化	協力機関と本校の目指す生徒像を共有し	○探究活動に係る広報物を作成する。

(進路指導)	推進する		、キャリア教育の充実を図る。	○本校の目指す生徒像や生徒の育成方針についての周知計画を作成する。
		体系的な進路指導の確立	高森高校版進路のしおり「Lynx」の活用とキャリア・パスポート評価面談を実施する。	○高森高校版進路のしおり「Lynx」の活用計画を作成する。 ○キャリア・パスポート評価面談に係る研修を実施し、面談を通して得られた評価を分析する。
生徒指導	自らの強みを活かし、集団を意識して「自律的」に行動できる力を育成する	新しい生徒心得(令和6年4月改定)の理解と、自律する態度の育成	新しい生徒心得の実践	生徒同士が互いに規則を確認しあうような態度を育成する。
		「いのち」を守るための交通安全指導	交通事故・交通違反「0」を目指す。	警察などの外部機関と連携しながら、交通安全を啓発する。
		社会の一員としての生活態度を身につける。	近隣や地域の方々と心通うあいさつを励行する。	保護者・生徒・職員が協力し、あいさつの啓発活動を行う。
人権教育の推進	命を大切にすることを育む指導の充実を図る	多様性を認め、自他を尊重し行動できる人権感覚の育成	文部科学省が推進するWell-Being(健康と幸福感)を取り入れ、生徒・職員・保護者が心身共に有実感を感じ、自尊感情が高まる取組を実践する。	○職員が生徒へ「自分を語る」ことを目的とした、HR活動を実施する。 ○自他の大切さに気付き、自他を認め寄り添う取組として、自分の想いを綴る人権作文や人権レポートを生徒・職員全員で作成する。
いじめの防止等	いじめを見逃さない、いじめを許さない態度を育成する	組織的な未然防止と早期発見	本校のいじめ防止基本方針(R2改定)の見直しを行う。	いじめの問題に取り組む組織の役割を再確認し、新たな基本方針のもと、いじめ防止を啓発する。
地域連携(コミュニティ・スクールなど)	地域との連携強化による本校教育の特色化を図る	普通科グローバル探究コースとマンガ学科の教育の特色化(魅力化)の構築と、これまで築き上げてきた本校教育の良さの再発見	○魅力化委員会が主査となり、高森町、コアミックス社、県教育委員会との四者での連携協定に基づいた魅力化を推進する。 ○普通科グローバル探究コースの魅力発信をさらに強化する。	○四者による本校の魅力化に向けた定期的な会議を開催する。 ○小中学生向け交流イベントを開催する。 ○総合的な探究の時間に係る成果報告会を実施する。
健康管理・安全管理	健康教育・保健教育を推進する	生活習慣の形成と心身の健康に関する生徒自身の自己管理能力	講演会の実施や生徒保健委員会の活動を通して、心身の健康	○外部講師を活用した性教育講演会と薬物乱用防止講演会を

		力の育成	の保持増進を図る。	実施する。 ○文化祭発表や保健だよりの発行等保健委員会活動を充実させる。
環境教育と防災教育を推進する	生徒・職員の安全に対する意識の高揚	○4月のくまもと防災月間及び9月1日防災の日を機として、地域の特徴や季節に即した防災教育を充実させる。 ○実用的な危機管理マニュアルの改訂作業に生徒及び職員の意見を取り入れ、全生徒と職員の防災意識を向上させる。	○4月に全校生徒と全職員を対象とするAED講習会を消防署の指導の下実施する。 ○1学期に防災避難訓練及び消火器使用訓練を実施する。 ○2学期にシェイクアウト訓練を実施する。 ○学校行事ごとの災害避難計画を改訂する。 ○危機管理マニュアルの中で、特に災害対応に関わる初期動作を整理し、実用性を高める。	